

## 【グループDの議論】

### （制度の基本的枠組み）

- ・ 持続可能性・継続性のある制度とすべき。そうでないと、利用者も運営側も混乱してしまう。
- ・ 個人単位化したことによる高齢者間の横の公平が新制度ではなくなってしまうのは、おかしいのではないか。
- ・ 国民皆保険制度と低い医療費水準を維持するという観点から、基本的枠組みには賛成。
- ・ 世帯単位となることでメリットが得られるとあるが、高齢者の単身世帯が増えている中で、それほど多くの方がメリットを享受できるか疑問。
- ・ 費用負担については数式が複雑で、保険証の種類も色々ある点、制度が複雑。もっと分かりやすい制度とすべき。
- ・ 社会保障のあるべき姿をまず描いてから、少なくとも 10 年は変えなくていいような制度とすべき。
- ・ 国保世帯と被用者保険の世帯とで保険料負担が変わるようなことについては、しっかりと周知・説明を行わないと混乱が起きる。個人単位から世帯単位への逆戻りについては、十分な説明を図るべき。

### （国保の運営のあり方）

- ・ 全年齢での国保の統一は本当に解決策になりえるのか。
- ・ 介護保険や年金受給対象年齢と平仄を合わせ、まず 65 歳以上からを都道府県とすべきではないか。
- ・ 国か都道府県か市町村か、どこが責任を持つのか明確化すべき。特に国の責任についてはしっかりと明確にすべき。
- ・ 都道府県と市町村の分担・責任の明確化以上に、国がきちんと責任を持って行うべき。
- ・ 国保の中で高齢者と若人と、2つの区分があるのは分かりづらい。
- ・ 保険者機能の発揮という点では、住民に近い基礎自治体である市町村が頑張るべき。
- ・ 保険者は身近なところに担ってほしい。遠い存在にはしないでほしい。

### （費用負担）

- ・ 被用者保険の負担は過重になっており、一定の歯止めとして公費を拡充すべき。
- ・ 今以上に納得できる制度とするためには、誰が負担をするのかをはっきりとさせ、特に公費については国がしっかりと投入を図るべき。
- ・ 消費税の引き上げも考えるべき。
- ・ 将来的には全員が高齢者となるので、現役世代が多少負担増となるのはやむをえ

ないが、現役世代も子育て等医療以外のところでお金がかかるのだし、高齢者の方にもある程度負担をしてもらうべき。

- ・高齢者も、応分の負担をする気持ちがある。ただし、人によっては配慮が必要。
- ・公平性という観点からは、全年齢統一の保険料率とすべきではないか。
- ・協会けんぽの負担は重くなってきており、公費の拡充を強く望む。総報酬割には賛成である。
- ・高齢者も一定割合を負担するとあるが、1割負担は維持すべき。
- ・公平で納得のいく制度という観点から、窓口負担の負担割合について、収入による傾斜はつけない方がよい。
- ・医療費＝コストという考え方では、受診抑制に繋がりがねない。
- ・医療費の伸びと保険料の伸びがリンクしないような、水準が不変なものとしてほしい。
- ・分賦金方式をとることで、市町村により保険料が変わることはないようにしてほしい。
- ・保険料負担の水準は年齢によって変えるべきではない。
- ・負担の問題は、介護等も含めた社会保障全体を議論することが必要。

#### (医療サービス)

- ・医療にかかる権利をどう守るかが大事。明確な医療あってこそその保険制度。
- ・介護と医療の療養型病床群のあり方をどうするか。

#### (保健事業等)

- ・加算・減算のようなペナルティを課す制度は行うべきではない。
- ・特定健診については、保険者が費用負担をして市町村が実施する形がよいのではないか。

#### (その他)

- ・高齢者向けに分かりやすくPRを行ってほしい。
- ・メディアの活用も含めて、もっと多くの方に制度を分かりやすく説明する努力が必要。
- ・現場にいて、高齢者の負担はこれくらいであるが、若者からもこれくらい負担をしている、ということ具体的な数字で説明すると理解していただける場合もあった。
- ・システム設計の財源については、しっかりと確保してほしい。
- ・社会保障番号の導入を行うべき。

## 【グループDの意見発表】

### (わかりやすい制度を目指すことについて)

- ・ 保険料負担の基準のわかりやすさが求められている。
- ・ 今の医療保険は制度が分立している点がわかりにくい。
- ・ 老人保健制度から後期高齢者医療制度に変わり、また新しい制度に変わる。コロナ制度が変わるのはわかりづらくてよくないのではないか。
- ・ 後期高齢者医療制度の実施に当たり批判があったのは、広報・周知の問題。例えば、どのように保険料が変わるのか、説明が足りなかった。制度変更に伴う保険料の変動などについて、事前に具体的な周知が必要。

### (費用負担)

- ・ 保険料については年齢に関係無く同じ基準で負担すべきではないか。
- ・ 国保、協会けんぽは限界に来ている中で、保険料の伸びを抑える仕組みが必要。そのために公費を増やしていくべき。

### (その他)

- ・ 国保の赤字は大きいので、一元化すべきではないか。
- ・ 高齢者の医療をどのように確保していくのかということをより重点的に議論すべきではないか。